



平成23年12月6日

さくら通信

(12月号)

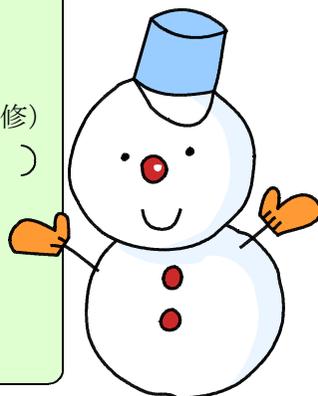
長崎県立佐世保中央高等学校定時制夜間部

師走の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、今年もあと1ヶ月を残すのみとなりました。年間行事予定表にある予定も、本日最終日を迎えた第三回考査を終えるとあとは文字力コンクールと生徒会役員改選だけとなります。生徒たちは冬休みが待ち遠しいようですが、冬休みを迎えるまでは、緊張感のある学校生活を送ってほしいと思います。

これから気温も一層低くなると予想されますので、体調管理には十分お気をつけください。

【年末年始の主な行事】

- 12月 7日 (水) 人権教育+②③授業
- 10日 (日) 県商電卓検定
- 12日 (月) 文字力コンクール
- 14日 (水) 保健講話+①②授業
- 20日 (火) 特別時間割 (3年生は4校時併修)
- 21日 (水) (1、2年生…①③授業
3年生…併修授業2時間)
+生徒会役員改選
- 22日 (木) 併修、大掃除、集会、HR
- 23日 (金) 天皇誕生日
- 24日 (土) ~1月9日 (月) 冬休み
- 1月10日 (火) 併修、LHR、大掃除
集会、頭髪服装検査



○「心に響く人生の達人セミナー」が開催されました

11月16日(水)平成23年度の「人生の達人セミナー」が開催されました。このセミナーは、本県にゆかりの深い人生の先輩から経験をふまえた実社会のきびしさなどのお話をいただくことで、生徒に21世紀をたくましく生き抜く力を身につけさせるとともに、人生観や倫理観を育もうとするものです。

今年、NBC ラジオのパーソナリティーや各種イベントの司会等で活躍されている、雲仙市在住の川田金太郎氏をお迎えし、「伝えるということ」という題で、お話をいただきました。

中学校を卒業してすぐの自転車での日本一周をめざした旅での思い出やその旅の中で感じた母親への感謝の気持ちを通じ、「相手に対し、『ありがとう』が言葉にならなくても、それを強く思うことで、相手には伝わるもの」というお話は、とても印象的でした。

また、途中では、ギターの弾き語りで、川田さんのお子さんへの愛情を表現した歌やNHK長崎放送局の開局記念のために作られた歌を披露いただき、90分の講演時間がまたたくまに過ぎてしまう、本当に楽しく有意義な講演でした。

以下に、当日の講演の生徒感想文を紹介します。



川田さんの講話を聞いて、大人の気づかいがどういうものかを知ることができました。思いを伝えることは難しいことだけど、自分が伝えたいと思うことで、言葉に出さなくても伝えられることを改めて知りました。思いを伝えることに必ずしも言葉を使わないといけないわけじゃなく、言葉じゃなくても相手に伝わることも改めて知りました。これからは、自分が大人の気づかいをしていけるようにしていきたいです。それと「ありがとう」という感謝の気持ちと「ごめんなさい」という謝罪の気持ちをちゃんと伝えられる人になりたいです。

○本校で「青年期における食育推進事業」が実施されました



佐世保市健康づくり課主催の「青年期における食育推進事業」が、11月25日(金)、28日(月)の両日、本校で開催されました。

この事業は、高校を卒業し家庭から自立する高校生が、一人暮らしから来る生活のリズムの変化により生活習慣病等にかかることがないように、「食と健康との関係」や「適切な食選択」を内容とした講義や調理実習を通じ、今後の健康的な食生活の実践をめざすものです。

25日(金)には3年C組、28日(月)には3年A組のクラスで、市健康づくり課よりお見えになった職員の方による講義とかんたんにご自分でできる自炊料理として調理実習を実施しました。

参加した生徒たちは、少しの工夫で料理の脂質を減らすことができることを学ぶとともに、「ぶりの照り焼き」や「ほうれん草のおひたし」の調理に挑みました。調理後は、できあがった料理を全員でおいしくいただきました。今回の授業は、生徒たちにとって、コンビニ食やレトルトに頼らない、健康的な食事をとることの大切さを学ぶ良い機会となりました。



川田さんのいろんな体験談を聞くことができました。とてもおもしろくて、川田さんのいろいろな気持ちが伝わってきました。母親への感謝の気持ちを持つというところでは、自分も母に「ありがとう」とあまり言わないし、そう強く思ったりもしないから、改めて両親には感謝の気持ちを持ちたい。それと大人の気づかいのことも話されていて、自分はあまり気づかいのできない方だから、それができよう心がけていきたい。

